



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>  
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 長倉 統己  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部課長 (氏名) 高橋 英知 TEL 03-3239-3185  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,151	△1.8	△7	—	22	—	△37	—
2023年3月期第3四半期	13,390	10.3	△245	—	△226	—	△265	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △5百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △249百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△1.80	—
2023年3月期第3四半期	△12.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	6,798	4,912	69.2	226.95
2023年3月期	6,732	4,911	70.2	228.34

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,704百万円 2023年3月期 4,729百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.9	250	—	250	—	175	—	8.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	24,106,009株	2023年3月期	24,087,009株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,375,509株	2023年3月期	3,374,829株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	20,722,382株	2023年3月期3Q	20,693,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界情勢に伴う影響や中国経済の先行き懸念などのリスク、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等に注意する必要があります。

当社グループが属する自動車業界におきましては、新車登録台数（軽自動車含む）は、283万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比15.4%の増加となりました。中古車登録台数（軽自動車含む）は、390万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比3.8%の増加となりました（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）。

このような環境の中で当社グループは、自動車流通事業においては、『顧客ファースト』のスローガンのもと、お客様と直接取引する「買取直販」を積極的に推進しております。多様化するお客様のニーズに対応する保証やメンテナンスパッケージなどのサービスを強化することにより付帯収益を向上させるとともに、車検や保険などのアフターサービスの充実を図り、お客様との継続的な取引を強化しております。

商用車関連におきましては、カーチス倶楽部会員や法人顧客を対象とした新たな顧客層の開拓により、トラックなどの取引を拡大しております。

海外関連では、円安の影響もあり、バングラデシュ等を中心とした諸外国との輸出取引が活発化しており、海外向けの車両販売は前年同期1,786百万円から2,124百万円に増収となっております。中国に設立しました合弁会社である青島新馳汽車有限公司につきましては、2023年4月に新華錦集团有限公司及び山東膠東航空城投資有限公司とともに投資枠組み契約意向書を締結し体制整備を進めております。2023年9月には海外での自動車の販売、製造ならびに現地における市場開発のための企画及びコンサルティング業を行うことを目的として株式会社カーチスキャピタルマネージメントを設立しており、その事業第一弾として、チャド共和国のチャド商工会議所と自動車の整備及び販売等を協業して行う合弁会社の設立を目的とした基本合意書を締結しております。

リースバック関連事業においては、金融機関、大手物流業者との連携及びカーチス倶楽部会員を通じた運送事業者等への事業の認知度向上を進めており、セグメント利益は74百万円（前年同期は51百万円）と増益となっております。また、2023年10月6日に株式会社カーチスロジテックを設立し、運送会社のM&Aアドバイザー事業、商用車の買取販売事業、リース及びリースバック事業、金融業も手掛ける総合物流商社となることを目指しております。また、一般貨物自動車運送事業許可及び貨物利用運送事業登録を取得することにより、運送会社の資金繰り等への支援と物流事業の安定化に貢献するための物流管理プラットフォームとして、物流業界の発展に寄与してまいります。今後も金融機関や大手物流業者との連携及びカーチス倶楽部会員を通じた運送事業者等への事業の認知度向上に努め、リースバック関連事業及び商用車関連取引の更なる拡大を図ってまいります。

販売費及び一般管理費につきましては、新規事業や海外輸出関連事業の取引増加に伴う事業構造の転換による人員採用などの戦略的投資を積極的に実施しておりますが、不要な費用の見直し等による経費削減を継続的に行っております。

以上の結果、売上高は13,151百万円（前年同期比1.8%減）と減収になりましたが、売上総利益は2,258百万円（前年同期比6.2%増）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失245百万円）、経常利益は22百万円（前年同期は経常損失226百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は37百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失265百万円）となり、前年同期と比較して業績は大幅に改善し、当第3四半期連結累計期間における経常利益は黒字で推移しております。

引き続き、第4四半期連結会計期間の業績を踏まえた通期の利益確保を図ってまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,798百万円となり、前連結会計年度末と比べ、65百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加313百万円、商品の増加91百万円、売掛金の減少384百万円などによるものであります。

負債合計は1,886百万円となり、前連結会計年度末と比べ、65百万円増加いたしました。その主な要因は、契約負債の増加320百万円、短期借入金の減少184百万円、未払金の減少50百万円などによるものであります。

純資産は4,912百万円となり、前連結会計年度末と比べ、0百万円増加いたしました。その主な要因は、非支配株主持分の増加28百万円、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加9百万円、利益剰余金の減少37百万円などによるものであります。この結果、自己資本比率は69.2%（前連結会計年度末70.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,730,661	2,043,906
売掛金	1,258,634	873,855
商品	1,982,847	2,074,624
貯蔵品	413	585
その他	280,641	342,615
貸倒引当金	△541	△541
流動資産合計	5,252,656	5,335,045
固定資産		
有形固定資産	922,844	879,111
無形固定資産	144,160	168,885
投資その他の資産		
投資有価証券	58,789	63,881
差入敷金保証金	344,999	342,407
破産更生債権等	1,269	1,169
その他	19,041	19,052
貸倒引当金	△11,244	△11,144
投資その他の資産合計	412,855	415,367
固定資産合計	1,479,860	1,463,363
資産合計	6,732,516	6,798,409

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,077	165,670
短期借入金	560,000	375,001
未払金	191,039	140,784
未払法人税等	4,906	28,271
契約負債	421,332	741,427
店舗閉鎖損失引当金	—	4,140
その他	176,994	187,973
流動負債合計	1,561,351	1,643,269
固定負債		
預り保証金	10,475	7,517
リース債務	69,856	56,897
繰延税金負債	8,369	8,022
資産除去債務	170,910	170,352
固定負債合計	259,612	242,789
負債合計	1,820,963	1,886,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,816,034	2,820,732
資本剰余金	846,636	851,334
利益剰余金	2,135,183	2,097,918
自己株式	△1,076,287	△1,076,421
株主資本合計	4,721,566	4,693,563
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,930	11,190
その他の包括利益累計額合計	7,930	11,190
新株予約権	2,710	—
非支配株主持分	179,345	207,597
純資産合計	4,911,553	4,912,351
負債純資産合計	6,732,516	6,798,409

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,390,493	13,151,825
売上原価	11,263,514	10,893,063
売上総利益	2,126,979	2,258,762
販売費及び一般管理費	2,372,589	2,265,787
営業損失(△)	△245,609	△7,025
営業外収益		
受取利息	1,168	1,805
受取配当金	1,348	1,508
受取保証料	1,151	2,472
為替差益	17,934	21,269
受取保険金	—	423
持分法による投資利益	—	31
雑収入	4,373	7,674
営業外収益合計	25,976	35,184
営業外費用		
支払利息	1,814	1,619
支払保証料	1,285	1,349
持分法による投資損失	1,737	—
解約清算金	—	2,000
雑損失	1,883	362
営業外費用合計	6,721	5,332
経常利益又は経常損失(△)	△226,354	22,826
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,625
特別利益合計	—	2,625
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	4,140
特別損失合計	—	4,140
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△226,354	21,312
法人税、住民税及び事業税	29,190	30,672
法人税等調整額	△1,056	△347
法人税等合計	28,133	30,325
四半期純損失(△)	△254,487	△9,013
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,077	28,251
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△265,565	△37,264

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△254,487	△9,013
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,952	3,260
その他の包括利益合計	4,952	3,260
四半期包括利益	△249,534	△5,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△260,612	△34,004
非支配株主に係る四半期包括利益	11,077	28,251



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第6回新株予約権の行使により、2023年8月31日付で、発行済株式総数が19,000株増加しました。これにより、資本金が4,697千円増加し、資本剰余金が4,697千円増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が2,820,732千円、資本剰余金が851,334千円となっております。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期 連結財務諸表計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	13,330,377	60,116	13,390,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	13,330,377	60,116	13,390,493
セグメント利益又は損失（△）	△297,470	51,860	△245,609

(注) セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期 連結財務諸表計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	13,052,179	99,646	13,151,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	13,052,179	99,646	13,151,825
セグメント利益又は損失（△）	△81,299	74,273	△7,025

(注) セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。